

テンブスウイルスによるあひるの感染症について

(BYD ウィルスとの塩基配列の相同性は高いと見られる (99.6%) が、同一のウィルスと確定されていない。)

1 概要

中国南東部で発生している、あひるの産卵低下、発育不良及び死亡の調査で、フラビウイルス属に属する新たなテンブス (Tembusu) ウィルス株 (FX2010:Tembusu virus Fengxian 2010 (Fengxian : 最初にウイルスが分離された上海市奉賢区から: 文献参照)) が分離された。本ウィルス株は、野外例・実験感染例共に既報の BYD ウィルス (Baiyangdian : 河北省白洋淀) と同様の所見を示した。また BYD ウィルスとの塩基配列の相同性は 99.6% (他のテンブスウイルスとは 88%) であった。

2 感受性動物

ツクシガモ (参考文献によれば論文提出時 (2010 年 12 月) までに 1,000 万羽以上のツクシガモが感染し、100 万羽が死亡していると見られるとの報告。)
(なお、バリケン (フランス鴨)、及び鶏での感染例は報告されていない。)

3 臨床所見

- ・死亡、発育遅延、高熱、食欲不振、産卵率低下
- ・死亡率 5~30% (感染実験では、7.5%。死亡はバクテリアの二次感染によるものと考えられる。)
- ・腎及び脾臓の腫脹 (臨床病理所見)

4 実験感染例での解剖検査所見

- ・腎及び脾臓の腫脹 (臨床病理所見)
- ・脳における中程度の壊死
- ・重度のネフローゼ (腎不全)
- ・肺出血
- ・重度な腎臓の壊死

5 発生状況

- ・2010 年 4 月に上海で確認後、中国東南部に急速に拡大 (図参照)。
感染が確認されている地域は江蘇省、安徽省、上海市、浙江省、江西省、福建省、山東省、江南省、湖北省、湖南省。
- ・他国での発生状況は不明

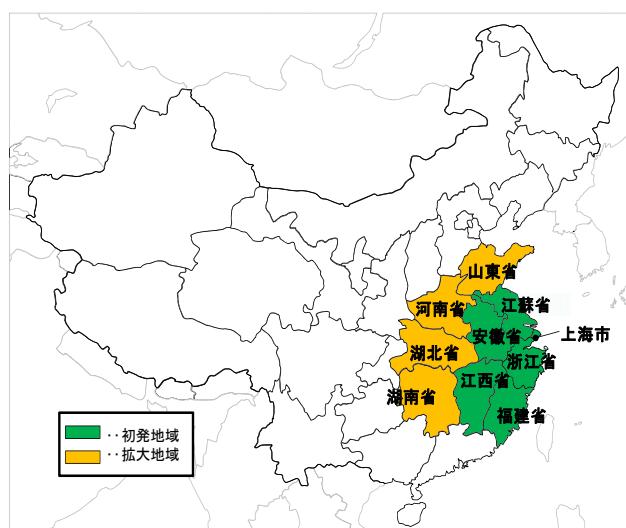


図 中国における発生地域

(文献参照)

6 BYD ウィルスとの関連性

- ・本ウィルスの、既報の BYD ウィルス (Baiyangdian : 河北省白洋淀) との塩基配列の相同性は 99.6% (他のテンブスウイルスとは 88%)。

7 参考文献

Virology. 2011 Aug 15;417(1):1-8, Yan Pら.

「An infectious disease of ducks caused by a newly emerged Tembusu virus strain in mainland China.」